

春の全国火災予防運動が実施されます 命と財産を守るため！火災に備えましょう

3月1日(火)から7日(月)まで、「春の全国火災予防運動」期間として、全国で火災予防を推進するための取組が実施されます。火災が発生しやすいこの時季に、改めて火災予防について考え、尊い命と大切な財産を守りましょう。

市消防本部では、この期間中に消防車両による広報活

動、住宅用火災警報器の普及推進、空き家・枯れ草調査などを実施する予定ですので、ご協力をお願いします。

令和3年度 全国統一防火標語
おうち時間 家族で点検 火の始末

問合せ 予防課 TEL 24-0119

市内の令和3年中の火災・救急件数

■火災件数

昨年に比べ、建物火災が大幅に増加しています。主な出火原因は「電気関係」「放火または放火の疑い」「石油ストーブ」などです。火災はちょっとした不注意から発生しています。火の取扱いには注意して、火災による被害を防ぎましょう。

区分	令和3年	令和2年	増減	
火災件数	建物	27件	10件	17件
	林野	0件	1件	-1件
	車両	2件	4件	-2件
	その他	9件	12件	-3件
	合計	38件	27件	11件
死傷者数	死者	2人	0人	2人
	負傷者	8人	2人	6人

■救急出場件数

出場件数は昨年に比べ減少していますが、1日当たりの出場件数は23件程度と依然多い状況が続いています。救急車は限られた資源です。本当に救急車を必要としている方のためにも、引き続き救急車の適正な利用にご協力ください。

区分	令和3年	令和2年	増減
出場件数	8,330件	8,456件	-126件
搬送人員	7,665人	7,771人	-106人

《主な救急出場事故種別》

区分	令和3年	令和2年	増減
急病	5,731件	5,716件	15件
一般負傷	1,174件	1,165件	9件
交通事故	357件	418件	-61件

電気関係の火災に注意しましょう！

建物火災の多くは電気関係によるものとなっています。皆さんのお住いから火災を起こさないためにも、次の点などに注意しましょう！

- ☑ 見えにくいコンセントも掃除をしましょう。
- ☑ 使用しないプラグは抜きましょう。
- ☑ 電気コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。
- ☑ 電気コードを束ねて使用するのをやめましょう。



日立消防署
菊地 竜也 司令補

市のホームページには、「住宅防火いのちを守る10のポイント」や、防火に関する映像資料が掲載されています。ぜひご覧ください！



市 HP

新産業廃棄物最終処分場基本計画 市民報告会を開催します

県では、日立市諏訪町地内を建設予定地としている新たな産業廃棄物最終処分場について、自然環境との調和を図るとともに、生活環境の保全などに配慮し、安全性を最優先とした施設の基本計画の策定を進めています。

策定に当たっては、廃棄物や地盤工学の専門家などで構成する基本計画策定委員会を設置し、施設の構造やその運営について検討してきました。

この度、基本計画(案)について、日立市民を対象とする市民報告会を次のとおり開催します。

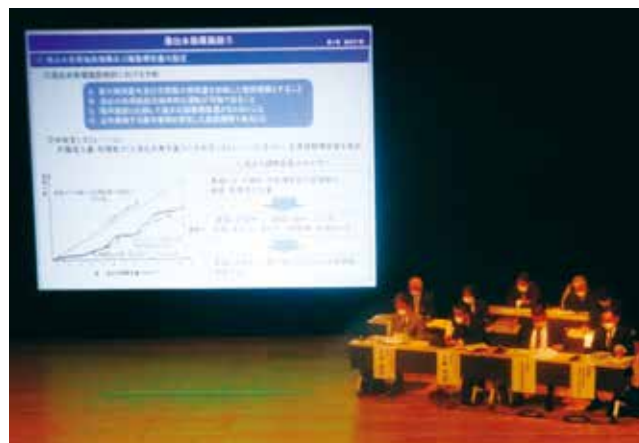
とき 3月6日(日)

第1回 午前10時30分～(受付:午前10時～)

第2回 午後2時～(受付:午後1時30分～)

ところ 多賀市民会館

対象 市内在住の方



参加方法 当日、直接会場にお越しください。

*各回先着200人

その他

■検温、マスク着用、手指消毒にご協力願います。

■新型コロナウイルスの感染状況により、中止とする場合があります。

中止の場合は県資源循環推進課の

ホームページでお知らせします。

詳しくはこちら



問合せ 県資源循環推進課 TEL 029-301-3015

女性の意見を政策に反映させるために 女性人材リストに登録してみませんか

市では、男女が共に個性と能力を発揮できる男女共同参画社会づくりを進めており、ひたち男女共同参画計画において、審議会などでの女性委員の割合を男女共同参画の推進状況を測るための指標の一つとしています。更なる女性の参画を進めるため、市の政策などに興味を持つ女性にご登録いただく「女性人材リスト」の登録者を募集します。

Q リストに登録するとどうなりますか？

A 登録された方を、審議会などの委員として積極的に推薦しています。4月からは、「第4次ひたち男女共同参画計画(令和4年度～令和8年度)」がスタートします。ぜひご応募ください。

*登録についてなど、詳しくは市のホームページ(右記QR)をご覧ください。

問合せ 女性若者支援課 TEL 26-0315



男女共同参画コラム

女性の活躍が社会のさまざまな分野で注目されています。しかし、市の政策や方針を審議する委員会や、身近な地域のことを話し合う地域の役員など、物事の決定の場に女性が参画することは少ないのが現状です。

米ハーバード・ビジネススクールのロザベス・モス・カンター教授の「黄金の3割」理論によると、組織の中で少数派が意思決定に影響を持つようになるためには3割を占めることが必要で、国も女性参画の目標としてこの数値を掲げています。日立市では、この5年間の女性委員などの割合は26.0%から28.5%の間で推移しており、更に女性の参画を進める必要があります。

まちづくりには、防災、福祉、環境、子育てなどさまざまな課題があります。性別や年齢にかかわらず、立場の異なる人たちがそれらの課題をあらゆる面からとらえ、共に考え取り組んでいくことが、多様性に富んだよりよいまちづくりを進めていく上で重要なのです。